



玉川通信

学校だより NO. 4
令和3年6月30日
昭島市立玉川小学校
校長 小川 広樹

たなばた 七夕に願うこと

昭島市立玉川小学校
校長 小川 広樹

梅雨明けが待ち遠しいこの頃です。本校に関係の皆様、保護者の皆様におかれましては御健勝にてお過ごしのことと存じます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

7月に入り、いよいよ1学期の締めくくりの月となりました。これまでの一学期を振り返り、やり残しのないように進めています。子供たちの健やかな成長のために玉川小学校の教職員は力を合わせて指導・支援に当たります。

新型コロナウイルス感染症については、様々な報道がありますが、これまで同様に感染防止対策を一人一人が確実に行っていくことが重要だと考えます。国や都からの指示だけでなく、感染しない、感染させない行動を取り続けましょう。

学校では、三密（密閉、密集、密接）を避け、正しくマスクを着用する、こまめな石けんによる手洗い、換気、消毒など、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を継続しています。

緊急事態宣言が解除になったことから、体育「水泳」を始めています。昨年度は全ての水泳授業が中止になっていましたので、久し振りの授業です。安全第一とともに感染症対策にも配慮しています。プールではマスクを着用できないので、子供同士の距離を空けたり、不要な発言を控えたり、タオルを取り違えたりすることがないように、細かく指導しています。例年の水泳指導では子供たちの元気な声が聞こえるのですが、今年はとても静かに実施しています。子供たちも頑張っています。

水泳指導は1学期で終了します。夏休み中の水泳指導は実施しません。昨年度に続いて水泳の機会が減っています。泳力が低下していることが心配です。

日本は、海に囲まれ、川が多く、水による事故が毎年必ず起きています。くれぐれも水の事故に遭わないように行動しましょう。子供だけで川に行くことは危険です。家族の方が同行し、絶対に目を離さないようにしてください。子供より川下にいることも重要な行動です。

7月7日には「七夕（たなばた）」があります。日本では古くから、笹の葉に七夕飾りを飾り、願い事の短冊を吊す行事を行ってきました。今年の願い事は何にしますか？

「疫病退散」「コロナ終息」でしょうか。

一日も早く新型コロナウイルス感染の心配が減少し、通常の学校、日常が戻ることを心より願っております。

7月の生活目標

「物を大切にしよう」

＜学級での取組＞

- ・持ち物に記名をし、大切に使う。
- ・公共物を大事に使う。
- ・使った道具の後始末をきちんとする。
- ・物の無駄使いをしない。



読書旬間

担当 安齊 代枝子 山田 優莉子

玉川小学校では、年2回の読書旬間を設定し、子供たちの読書週間の定着を目指しています。第1回目は、6月1日～11日でした。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、ペア読書や読み聞かせ等は実施できませんでしたが、子供たちは、それぞれ自分の興味のある本を集中して読んでいました。読み終わると、友達同士で本を交換し合い、お互いの感想を伝え合う姿も見られました。また、毎日図書館に行き、新しい本を用意して、朝読書に取り組む姿も見られました。

現在、階段の踊り場には、オリンピック・パラリンピックに関する本や読書コンクールに関する本を掲示しています。子供たちの様子を見ると、本を読むことで気持ちが落ち着き、大事な時間になっているようでした。

いよいよ待ちに待った夏休みです。子供たちにとっては様々な本に触れることのできる貴重な機会です。夏休みには、学校の図書館で本を3冊まで借りることができます。子供たちには、読書を通して、様々な本に触れて、知識を増やし、興味・関心を広げてほしいと思います。

離任式

担当 大河原 常吉

6月24日（木）に、昨年度まで玉川小学校でお世話になっていた先生方をお招きして、離任式を行いました。緊急事態宣言は解除されましたが、感染拡大予防のため、放送室から式の映像を各教室に送り、全校放送を使っての離任式となりました。

本校を離任・退任された先生方からは、児童へのお別れの言葉や励ましの言葉をいただき、各学年の代表児童からは、お別れの言葉と手紙、花束の贈呈をしました。

式の後には、先生方に各教室へ顔を出していただきました。短い時間ではありましたが、懐かしい先生方との最後の御挨拶、お話ができ、児童にとって貴重な時間となりました。

先生方の新たな場所での御活躍を心より祈っています。



放課後補習教室（チャレンジ学習室）について

副校長 鈴木 隆弘

子供たちの学習習慣形成（自学自習）と基礎的・基本的な学力向上のため、放課後補習教室「チャレンジ学習室」を年間6回開設します。例年とは参加方法等が大きく変わっておりますので、御注意ください。

詳細は、先日配布しました「放課後補習教室（チャレンジ学習室）について」を御参照ください。

夏季休業中の対応について

副校長 鈴木 隆弘

夏季休業中の学校への連絡は、以下のとおり御対応ください。

学校閉庁日（8月10日から13日）及び土・日曜日・祝日

→昭島市役所に連絡（042-544-5111）

上記以外

→学校に連絡（042-541-0067）

安心・安全な生活を過ごすために

担当 市川 克雄

玉川小のやくそく」の再確認を！

各教室に、「玉川小のやくそく」を掲示しています。「学校に来るときは、通学路を通りましょう。」「子供同士で、お金を持って遊ばないようにしましょう。」など、安心・安全に学校生活を送れるようにするために約束（決まり）があります。各御家庭でも話題にして御確認ください。

スマートフォン・オンラインゲームの扱い方に注意を！

子供たちの間で、スマートフォン等の機器を使用したSNSやインターネットを介したゲームが流行しています。これらを使用した友達同士のトラブルは、見付かった時点でかなり深刻な状態になっています。子供たちが安心・安全で健やかな人間関係を育んでいくために、保護者の皆様におかれましては、お子さんの使用状況をしっかりと確認してください。また、お子さんと話し合っ、御家庭でしっかりとルールを決めてください。

風水害に注意を！

夏の時期は、急な天気の変化が予想されます。台風はもちろんですが、突然のゲリラ豪雨や河川の増水など、危険を予想しての行動が大切になります。また、昭島市では多摩川での遊泳は禁止です。各御家庭に配布されている「東京マイタイムライン」を活用して、大切な命を守るために、非常時の避難や行動について相談してください。

オリンピック・パラリンピック教育

担当 佐藤 香奈

オリンピック・パラリンピックの開催が予定されています。大変厳しい状況での開催にあたり、観戦の新たなルールの厳守や、より一層の感染拡大防止の措置が求められています。しかし、オリンピック・パラリンピックが東京で開催される大変貴重な機会であることには変わりありません。

今回の大会を機に、子供たちには、オリンピック・パラリンピックの精神を学び、生涯にわたりスポーツに親しむ気持ちを育ててほしいです。玉川小では、昨年度から引き続き、世界の人たちに興味を広げるため、「世界友達プロジェクト」を行っています。今年度は、友好国5か国（オーストラリア、ドミニカ共和国、イラク、イスラエル、ケニア）について、2年生から6年生までが1か国ずつ担当し、その国の文化や生活について、日本と比べて、同じところや違うところを見付けながらまとめました。各学年でまとめたものは、1年生に分かるよう、文字の大きさや、図やイラストの使い方を工夫して制作しています。7月5日より2週間、各学年の教室前の廊下に掲示され、全児童が鑑賞することができるよう、時間を設定します。また、4年生の図工では、オリンピック・パラリンピックについて、遊びながら学べる「オリパラすごろく」を作りました。タブレットでオリパラについて調べて、遊ぶ人のことを想像しながら、マス目の項目を考え、ゲームを構成しました。授業だけでなく、校内の階段掲示板には、オリンピック・パラリンピック関連の書籍の紹介をしています。様々な場面で、触れる機会を増やして関心を高め、スポーツに親しみ、世界に向けての視野の広い児童の育成を目指していきます。

特別支援教室及び通級指導学級の理解教育の推進

副校長 鈴木 隆弘

本校では、特別支援教室及び通級指導学級の理解教育の推進を図っています。各学級で、巡回指導教員や通級指導学級担任がそれぞれに通う児童が抱えている困り感を伝えたり、実際に行われている指導内容を体験させたりしています。